

奈良工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	プレゼンテーション英語
科目基礎情報					
科目番号	0040		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	システム創成工学専攻 (電気電子システムコース)		対象学年	専2	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	実践プレゼンテーション・ワークブック[入門編] (朝日出版社)				
担当教員	寺岡 もと子				
到達目標					
1. 英語らしい表現パターンを習得し、適切に運用することができるようになる。 2. 自分自身の学ぶ習慣を充実させ、自分自身で「知りたい」ことを探究できるようになる。 3. 読み手や聞き手を納得させるように、論理的科学的に英語で自分自身の考えを表現できるようになる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	効果的なプレゼンテーションのための基本的なスキルについて十分に理解している。		効果的なプレゼンテーションのための基本的なスキルについて理解している。		効果的なプレゼンテーションのための基本的なスキルに関する理解が不十分である。
評価項目2	効果的なプレゼンテーションのための基本的なスキルを適切に運用することができる。		効果的なプレゼンテーションのための基本的なスキルをおおむね運用することができる。		効果的なプレゼンテーションのための基本的なスキルを正しく運用することができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	学生自身が必要とする英語表現に出会い、英語での自己表現の方法を一つでも多く蓄積して行ってほしい。そのため自分で学ぶ習慣をつけることを忘れないでほしい。このプレゼンテーション対策では、英語を学ぶ上での重要事項が多く含まれていることから、授業を通じて一つでも多くの表現を蓄積して行ってほしい。映画や音楽教材もプレゼンテーション対策として利用することで、英語でのものの考え方を培っていきたい。				
授業の進め方・方法	聴衆を意識し、その聴衆を納得させる「内容の『見せ方』」を、欧米では「大学への授業準備」として高校で叩き込まれる。残念ながら、日本では「言葉を武器」として利用する方法が系統だった教科として確立されず、体験的(主観的)にプレゼンテーションを行っている場合が多い。すばらしい内容を聴衆が求めている『見せ方』であらわせば、決して、聴衆は内容を取り違えることなく、発表者の意図も間違いなく正確に伝わる。この「英語プレゼンテーション」の授業では、聴衆を意識し、発表者の意図を間違いなく正確に伝える技術を習得し、それぞれの研究をパワーポイントで発表することを目的としている。				
注意点	関連科目：コミュニケーション英語 学習指針：説得力のあるプレゼンテーションを通して、抜け落ちている基礎的な英語文法力や英単語力を補強していく。 自己学習：学ぶ習慣を身につけてほしい。英語を利用しなければ、忘れることの方が多い。そのため、家庭での日々の英語学習に重点が置かれることになる。				
学修単位の履修上の注意					
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	イントロダクション Unit 0: What is a Presentation? DAY 1	授業の概要と進め方、成績評価の方法などについて説明する。また、プレゼンテーションの基礎を理解する。	
		2週	Unit 1: Describing Your Hometown DAY 2	海外からの旅行者を呼び寄せるために、外国の旅行代理店に向けて行う英語でのプレゼンテーションに関するスキルを理解し、実践することができる。	
		3週	Unit 1: Describing Your Hometown DAY 3	海外からの旅行者を呼び寄せるために、外国の旅行代理店に向けて行う英語でのプレゼンテーションに関するスキルを理解し、実践することができる。	
		4週	Unit 1: Describing Your Hometown DAY 4	海外からの旅行者を呼び寄せるために、外国の旅行代理店に向けて行う英語でのプレゼンテーションに関するスキルを理解し、実践することができる。	
		5週	Unit 2: Product Development DAY 5	企画書を書き、企業の商品開発の担当者に向けて行う英語でのプレゼンテーションに関するスキルを理解し、実践することができる。	
		6週	Unit 2: Product Development DAY 6	企画書を書き、企業の商品開発の担当者に向けて行う英語でのプレゼンテーションに関するスキルを理解し、実践することができる。	
		7週	Unit 2: Product Development DAY 7	企画書を書き、企業の商品開発の担当者に向けて行う英語でのプレゼンテーションに関するスキルを理解し、実践することができる。	
		8週	Unit 3: Which Hamburger Shop Do You Like the Best? DAY 8	食品産業に関する英語でのプレゼンテーションに必要なスキルを理解し、実践することができる。	
	2ndQ	9週	Unit 3: Which Hamburger Shop Do You Like the Best? DAY 9	食品産業に関する英語でのプレゼンテーションに必要なスキルを理解し、実践することができる。	
		10週	Unit 3: Which Hamburger Shop Do You Like the Best? DAY 10	食品産業に関する英語でのプレゼンテーションに必要なスキルを理解し、実践することができる。	
		11週	Unit 4: Fashion: Which Apparel Brand Do You Prefer? DAY 11	アパレル企業に関する英語でのプレゼンテーションに必要なスキルを理解し、実践することができる。	
		12週	Unit 4: Fashion: Which Apparel Brand Do You Prefer? DAY 12	アパレル企業に関する英語でのプレゼンテーションに必要なスキルを理解し、実践することができる。	

		13週	Unit 4: Fashion: Which Apparel Brand Do You Prefer? DAY 13	アパレル企業に関する英語でのプレゼンテーションに必要なスキルを理解し、実践することができる。
		14週	Unit 5: Is Study Abroad Necessary? DAY 14	英語でのプレゼンテーションコンテストに必要なスキルを理解し、実践することができる。
		15週	Unit 5: Is Study Abroad Necessary? DAY 15	英語でのプレゼンテーションコンテストに必要なスキルを理解し、実践することができる。
		16週	Unit 5: Is Study Abroad Necessary? DAY 16	英語でのプレゼンテーションコンテストに必要なスキルを理解し、実践することができる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	発表	小テスト	課題の完成度	合計	
総合評価割合	50	30	20	100	
基礎的能力	50	30	20	100	